

現代能 光の素足

心の宇宙を旅し、夢の言葉をつづりながら
永遠の少年として「ほんたうのほんたうの幸福」を探し求めた宮沢賢治……
その謎と示唆に満ちた言葉の奥深さを、
能の世界を通じて21世紀のあなたのお届けします。

現代能を創作する

ある時、「雨一毛負ケズ」をある詩人が朗読しているのを聞きました。気持が先走って力む声ばかりが響き、美しいとは言いがたい朗読でした。その後ある舞台俳優が朗読しているのを聞くと、きれいな声の響きばかりが上滑りしていて、表面

をそっと撫でていくような印象です。言葉の背後にある広がりを感じ取り、それは出来ませんでした。能の謡いならばその両方が可能だと思ったのが、私の創作の出发点です。
はたして「雨一毛負ケズ」に節付けをし

てみると、言葉の背景や作者の心情が浮び上がって来ます。謡の表現力の素晴らしさを再認識しました。これを契機に宮沢賢治の世界観を表現する作品を作ってみようと思いました。こういうテーマは能の最も得意とするところだと思います。そして完成したのが『光の素足』です。
室町の頃、人々はその舞台を何の準備もなく楽しんでいました。『光の素足』は

中所宜夫

中所宜夫能の会
現代能公演

光の素足

平成二十二年十二月二十六日(日)
午後二時開演
国立能楽堂

番組

舞囃子 山姥

観世 喜之

大鼓 亀井 広忠
小鼓 田邊 恭資
笛 松田 弘之

狂言語り 童話『ひかりの素足』より

山本 則重
山本 則秀

【休憩 二十分】

能 光の素足

少年一郎 中所 真吾
山人 中所 宜夫
光の素足

ボウセ童子・蠅
チンセ童子・大鳥
山本 則重
山本 則秀

大鼓 亀井 広忠
小鼓 田邊 恭資
笛 松田 弘之

後見 坂 真太郎
鈴木 啓吾

地謡
桑田 貴志
小島 英明
佐久間 二郎
古川 充
遠藤 喜久
駒瀬 直也
観世 喜正
奥川 恒治

【終了予定 午後四時半頃】

現代の皆様は、それに近いテイストを提供できる作品だと思っています。

観阿弥・世阿弥以来、能は武士階級の中で発展して行きます。そして江戸中期に一つの完成を見、非常に高い芸術性を獲得します。それから能は伝承することに重きを置き、大きな改良改革は行われていません。明治維新で武士階級がなくなつてから既に百四十年が過ぎてなお、能は活きた芸能であり続けています。これは、その時代時代に能に携わって来た先達が能に注いだ情熱のまぎれもない成果です。

しかし敗戦後、社会は大きく変動しました。能は明治維新以来のパトロンであった貴族と財閥を失いました。さらに能を楽しむために必要な基本教養である、民族に伝えられて来た物語は失われ、能を嗜むための身体の基本である、正座の習慣は捨てられてしまいました。この状況の中で、この後の世代に能を伝えて行くために、私は一つの挑戦として「現代能」を創作して行くことを考えています。

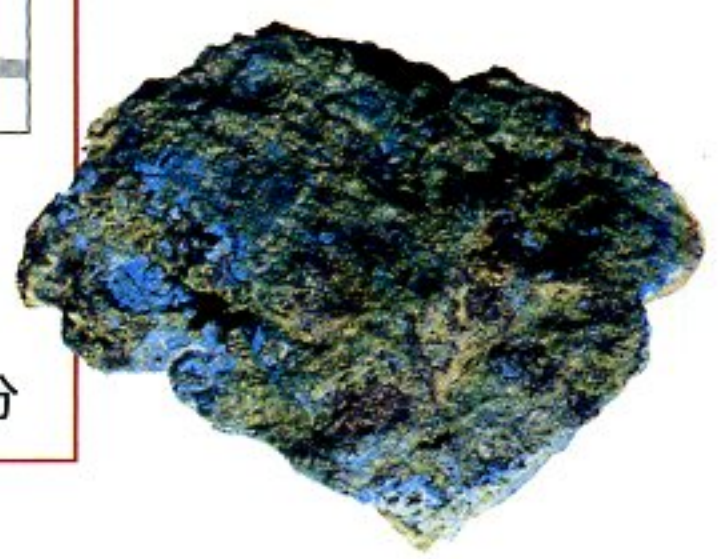
賢治の詩にさして親しんでいなくとも、能『光の素足』を楽しんでいただけると思えます。言葉の世界の広がりや様々の想像力をめくらせむことも可能でしょう。この時代に息づく言葉で、私たちの五感に響く言葉で能を創作し、その作品が感動を与えることが出来たならば、それを私は「現代能」と呼びたいと思います。

解説

宮沢賢治の童話『ひかりの素足』は、少年一郎が弟の樗夫とともに山仕事をしている父を訪ね、帰り道で吹雪に遭い、死後の世界を経験して帰ってくるお話です。現代能『光の素足』はその後の一郎少年が主人公です。



〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
TEL 03-3423-1331
JR中央・総武線 千駄ヶ谷駅下車徒歩5分
地下鉄大江戸線 国立競技場駅下車A4出口徒歩5分



山の中で少年が一人、剣舞(けんばい)を舞っていると、不思議な老人がどこからともなく現れ言葉をかけます。
少年は老人に自分の悩みを打ち明け助けを求めますが、老人は今晩この場所にもう一度来るようにと、言葉を残して姿を消します。その夜少年が浮かべていくと、不思議な光に包まれて「光の素足」が現れます。

口語詩「原體剣舞連」「春と修羅」「永訣ノ朝」「雨一毛負ケズ」、童話「銀河鉄道の夜」「ひかりの素足」そして「農民芸術概論」などの言葉・モチーフを散りばめながら、賢治の精神世界を能舞台上に再現する新しい能です。

Teatful-eye 「涙ぐむ眼」

オモテ面のイラストは、賢治が羅須地人協会時代に多くの植物の名前や開花期などを克明に記した「メモロラノート」の中に残された花壇の設計図(涙ぐむ目)です。瞳には濃い色のパンジー、涙腺をスイレンを入れた水かめで表現しています。賢治にとって花壇の設計は、植物学や鉱物学などの科学の知識を自己表現に生かせる技術のひとつだったのかもしれない。

宮沢賢治記念館所蔵

チケットのお問い合わせ・お申込み

TEL & FAX 042-550-4295 中所 (10:00~17:00)

E-mail: ticket@nohokai.com



©林風舎